

ポートフォリオの作り方

～私の能力カタログを作る10のステップ～

ポートフォリオ

何を目的に制作し
何をきっかけに考えが始まり
どのようなプロセスを経て
何を獲得したのか、を見せる

作品

大学の課題だけでなく
幼児期から高校まで
部活動や趣味で作った
作品すべてを見直す

写真・スキャン

- ・アングル
作品の魅力が伝わる
角度を探して撮る
- ・背景処理
模型等は、余分な
背景を切り取る
- ・スキャン
アイディアスケッチ
を読み込む

1. Adobe Illustratorでつくる
フレームや背景は使わず
真っ白なアートボードで作る

4. フォント

- ・種類
雰囲気合う統一フォントを使う
- ・サイズ
A4 : 12～14pt
A3 : 20pt
A2 : 28pt

情報の重要性にあわせて
3種類のフォントサイズを決める
大＝タイトル等
中＝解説文
小＝補足、付記

・行送り：調整する

2. A4でつくる

まずは
A4でつくる方が
レイアウトが楽

3. 縦でつくる

A4サイズ見開きが理想

拡大OK
縮小NG
縮小OK
拡大NG

5. 企業の指定がある場合は必ず従うこと
例：A2以下、5作品程度

6. A4サイズを複数つくる

7. 場面により使い分ける

場面 サイズ	就職・企業受験						進学
	合同 企業説明会	移動	デザイン系			事務 接客など	
			作品審査	作品説明	面接		
A2			○	○			
A3		○	○	○			○
A4	○	○	○		○	○	○

ページ構成 (例)

4ページ構成 建築系

- タイトル (科目名はダメ)
- 課題条件
敷地図面
現場写真
家族構成 など
- 詳細条件
- コンセプト
○○○ (要約)
- 発想のきっかけ
+
↓
- 模型
一番のウリがわかる
アングルの写真
展開
写真
- 図面 解説文
■断面

4ページ構成 グラフィック系

- タイトル (科目名はダメ)
- 課題条件
イメージ画像
全体像
- 調査分析
- コンセプト
○○○ (要約)
- アイディアスケッチ
- 完成作品

3ページ構成

- タイトル (科目名はダメ)
- 完成作品
- 課題条件
- 課題条件
- コンセプト
○○○ (要約)
- 制作過程
- 図面 解説文
■反省

2ページ構成

- タイトル (科目名はダメ)
- 完成作品
- 課題条件
- コンセプト
○○○ (要約)
- スケッチや図面

1ページ構成①

- タイトル
- 解説

1ページ構成②

- カテゴリー
完成作品 完成作品
完成作品 完成作品
完成作品 完成作品

テクニカル情報

制作年月日
寸法
材料
機材・ソフト
縮尺 など

ファイル

■購入する場合

- ・A4サイズ
- ・縦
- ・表紙は透明又は半透明のもの
→作品を透けて見せることができる
- ・30穴リングの方がページ管理しやすい

■制作する場合

- ・アイディアで創作する
- ・収載順が変えられないので完成後に制作
- ・複数制作すること

■複数生産

会社説明会、面接、OB訪問、
ポートフォリオは常に持参。
応募先に預けることもあるので
複数冊、作っておく。

■改善・改良

業界や職種に合わせ順を変える。
説明しにくかったらすぐ修正。
作品が増えたらすぐ追加。

表紙・インデックス・自己PRシート

表紙 (表・背・裏) + 自己紹介 + 目次 + 合計約20ページの「代表作品」で興味を持ってもらうことを考える

背表紙

表紙

- 個性の表現
- 個人情報
・学校名 (漢字)
・氏名 (漢字)
・PCメールアドレス

自己PRシート

- ・学校名・専攻
- ・学歴・受賞歴
- ・資格
- ・住所
- ・電話番号・携帯番号
- ・PCメールアドレス

作品インデックス (目次)

自己PRの
図・表・写真

イメージ
連動の
タグを
付ける

ポートフォリオ：学びの伸びや変容を多面的多角的に捉えるために、長期的に学習物を収集・分類・評価したものを
応募する業界、職種に関わらず、ポートフォリオなくして、デザイン系学生の就職活動はありえない。